第３９５回三木市議会定例会　市長　開会あいさつ

令和８年１１月２５日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

師走を目前に控え、朝夕の冷え込みが一段と増し、木々の葉も色づきを深め、冬の訪れが間近に感じられる季節となりました本日、第３９５回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、来月７日に三木山総合公園総合体育館において、「令和８年冬巡業大相撲三木場所」が開催されます。三木市で大相撲が開催されるのは、今回が初めてになります。８月には、三木市出身の若藤親方（元皇司関）が、開催決定の報告のため、市役所にお越しになったところです。若藤親方が「ふるさと三木市で巡業を開催したい」という思いで、長年にわたり尽力されたことが三木場所開催の大きな力となりました。巡業では、相撲の禁じ手や

珍しい決まり手をコミカルにわかりやすく説明する「初切（しょっきり）」や、相撲の取組や力士の気風を力強い合いの手に乗せて唄い上げる唄芸「相撲甚句（すもうじんく）」など、本場所では見ることのできない内容が予定されています。大相撲の魅力を間近で体験できる貴重な機会であり、ぜひ大相撲の醍醐味を肌で感じていただければと思います。

また、令和１０年１月に学校部活動が地域クラブに完全展開することに先駆け、「みきティブ」に所属するクラブの紹介イベント「みきティブフェスティバル」を来月１９日に開催します。「みきティブ」に所属するクラブは、１１月１日現在で５２クラブとなっており、これまで学校部活動にはなかったダンスや柔道、和太鼓、将棋などの種目も増えています。このイベントでは、地域クラブの紹介や体験ができるブース、地域クラブの日ごろの活動を披露するパフォーマンスステージなどを予定しており、小中学生に参加いただくことで、地域クラブの認知度を高めるとともに、スポーツや文化芸術に親しむ機会といたします。

「みきティブ」への完全展開に向け、市及び「みきティブサポートセンター」がクラブ運営をサポートするなど、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる体制を

整えてまいります。

さらに、今月１７日、多世代交流施設「ＨＩＴＯＴＯＫＩＭＩＫＩ（ひとときみき）」が兵庫県の「人間サイズのまちづくり賞奨励賞」を受賞しました。これは、周辺環境との調和や地域の個性を尊重し、地域のまちづくりに貢献する建築物などを対象に募集され、書類審査に加え現地審査の結果、奨励賞を受賞したものです。

団地再生の核となるこの施設を５月にオープンし、団地再生を進める中で、移動に係る不安の声に対して、新たなモビリティの乗車体験会を行うなど、市と連携協定を締結している事業者との官民連携の取組をスタートしています。また、昨日東京大学において、全国で先進的な取組を進めている５市のうちの１つとして、三木市の団地再生の取組を学生、企業、行政関係者など約３００人に紹介するとともに、私もパネリストとして、つくば市、飯田市、長崎市、沼津市とともに参加し、三木市の取組を発信してまいりました。来月３日から９日までは、「障がい者週間作品展示会」を開催します。障がい者週間での初めての試みとして、民間企業と連携し、障がいのある方と一緒に作り上げるワークショップを行うなど、「共におぎなう・つなぐ・はぐくむ」を

テーマとするこの施設の特徴を生かしたイベントとして開催するものです。今後もさまざまな事業者、団体等の強みやノウハウを掛け合わせたチャレンジを進めてまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会は、条例関係６件、補正予算関係７件、合わせて１３件の提案及び議案訂正請求１件を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げまして、開会のあいさつといたします。